

パソコンのモニター買い替え

JJ1SXA/池

TWO-FORTY誌第112号で、「マルチディスプレイ」という記事を書きましたが、モニターの不具合発生(モニターに縦線が現れた)で色々の事を試さざるを得ずということで、その諸々を記事にしたというわけです。

とりあえず、遊んでいる小型テレビをモニターで使えることを確認したので、また、不具合のモニターに戻して、色々対策を試していたが、第113号別稿で『PC TV Plus』でテレビをPCで視聴」という記事を書きましたが、実は、モニターがアナログ接続ではエラーになることがわかり、HDMI等のデジタル接続に対応できるように不具合発生のモニターを買い替えることにしたのです、

今まで、モニターのスペックとか、解像度とか、接続方法等のことを余り気にしていなかったのですが、モニター買い替えに当たり、色々知らないことを少し勉強しましたので、備忘録のつもりで書き置くことにしました。

モニターの説明書きとか宣伝文句の一部を示すと、詳しくは知らない用語の羅列です、例えば、あるモニターの宣伝文句は「フルHD、TN、HDMI、DVI、D-Sub、ブルーライト軽減、VESA対応」とあった。

「フルHD」は解像度の事で、フルハイビジョンのことだ、画面のドット数が、1,920×1,080(207万3,600画素)だ、これが「HD」ハイビジョンだと、1,280×720(92万1,600画素)、「4K」ともなると、3,840×2,160(829万4,400画素)だ、3,840は約4,000、つまり4K(ヨンケーと読まず、4キロの方が、ハムにはわかりやすい hi)、まあ、この位は常識として知ってはいた。

「TN」は、液晶パネルの駆動方式の1つで、別名はTN方式(Twisted Nematic…ツイストネマティック)、電圧のオン・オフで画面を黒色表示にするか白色表示にするかの方式のことだ、この他にも、VA(Vertical Alignment)パネル、IPS(In-Plane Switching)パネル等があり、どこかに、…トップスピードの「TN」パネル、最高にブラックな「VA」パネル、とにかく色が美しい「IPS」パネル…なる文言があった。

次の「HDMI」、「DVI」、「D-Sub」等は、接続規格だ、それぞれの解説を見ると、以下のようになっている。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface…高精細度マルチメディアインターフェース)は、主にテレビとハードディスクレコーダー、ゲーム機などの間を接続する際に用いられる、映像や音声などを1本のケーブルにまとめて送れる通信規格の一種。映像や音声などをデジタル信号で伝送する。

DVI(Digital Visual Interface…デジタル ビジュアル インターフェース)は、ディスプレイ装置(液晶ディスプレイやプロジェクタなど)における、映像入出力インターフェースの標準規格である。

D-Sub(D-subminiature…ディー・サブミニチュア)とは、広く普及しているコネクタの規格の一種で、主としてコンピュータと周辺機器を接続するために用いられる。

「ブルーライト軽減」は、液晶パネルから出るブルーライトが眼に悪影響を及ぼすのを軽減することだ、後、**VESA**は、VESA規格(Video Electronics Standards Association)のことで、ネジ穴の間隔について定められた国際標準規格の事だ。(2022年4月記)